



共有回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant

Cisco IP Manager Assistant (Cisco IPMA) の機能を利用すると、マネージャとアシスタントが一層効果的に連携できるようになります。Cisco IPMA は、プロキシ回線サポートと共有回線サポートの2つのモードの操作をサポートしています。Cisco IPMA サービスは、クラスタ内でプロキシ回線サポートと共有回線サポートの両方をサポートします。

IPMA の機能は、マネージャ用の電話機機能拡張、および、主にアシスタントが使用する Assistant Console アプリケーションで構成されます。

Cisco CallManager のユーザは、マネージャとアシスタントで構成されます。アシスタント ユーザは、マネージャに代わってコールを処理します。Cisco IPMA は、マネージャ用の機能とアシスタント用の機能で構成されています。

この章では、Cisco IPMA に関する次の情報を提供します。

- [Cisco IPMA の概要 \(P.3-2\)](#)
- [共有回線サポートのある Cisco IPMA のシステム要件 \(P.3-6\)](#)
- [インタラクションおよび制限事項 \(P.3-7\)](#)
- [Cisco IPMA のインストールと有効化 \(P.3-10\)](#)
- [共有回線サポートのある Cisco IPMA の設定 \(P.3-11\)](#)
- [Cisco IPMA のマネージャおよびアシスタントへの情報提供 \(P.3-25\)](#)
- [関連項目 \(P.3-27\)](#)

Cisco IPMA の概要

次の項では、Cisco IPMA の機能について説明します。

- Cisco IPMA アーキテクチャの概要 (P.3-2)
- Cisco IPMA のデータベースアクセスアーキテクチャ (P.3-4)
- マネージャのインターフェイス (P.3-4)
- アシスタントのインターフェイス (P.3-5)
- ソフトキー (P.3-5)
- マネージャおよびアシスタント管理用のインターフェイス (P.3-5)

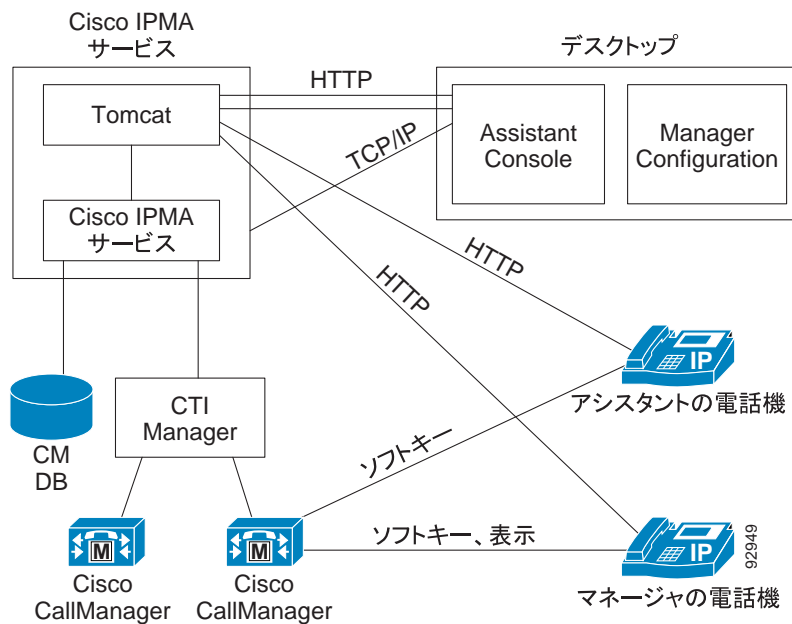
Cisco IPMA アーキテクチャの概要

Cisco IPMA の機能アーキテクチャは、Cisco IPMA サービス、Assistant Console アプリケーション、および Cisco IP Phone インターフェイスで構成されています。図 3-1 を参照してください。

追加情報

P.3-27 の「関連項目」を参照してください。

図 3-1 Cisco IPMA のアーキテクチャ



Cisco IPMA サービス

Cisco IPMA サービス (サーブレット) は、Cisco Tomcat がロードします。Cisco Tomcat は、Cisco CallManager のインストール時にインストールされます。

Cisco IPMA サービスは、クラスタ内のすべての Cisco CallManager サーバにインストールされます。インストール後、IPMA を自動的に起動する Serviceability から、管理者がサービスをアクティブにします。IPMA サービスは起動時に、これがクラスタ全体のサービスパラメータ Primary IPMA Server (Primary) IP Address で設定されている IPMA サーバの 1 つかどうかを確認します。設定されている場合、IPMA サービスはアクティブな Cisco IPMA サービスになろうとします。現時点では、Cisco CallManager クラスタがサポートできるアクティブな Cisco IPMA サービスは 1 つだけです。

Cisco IPMA サービスは、次のタスクを実行します。

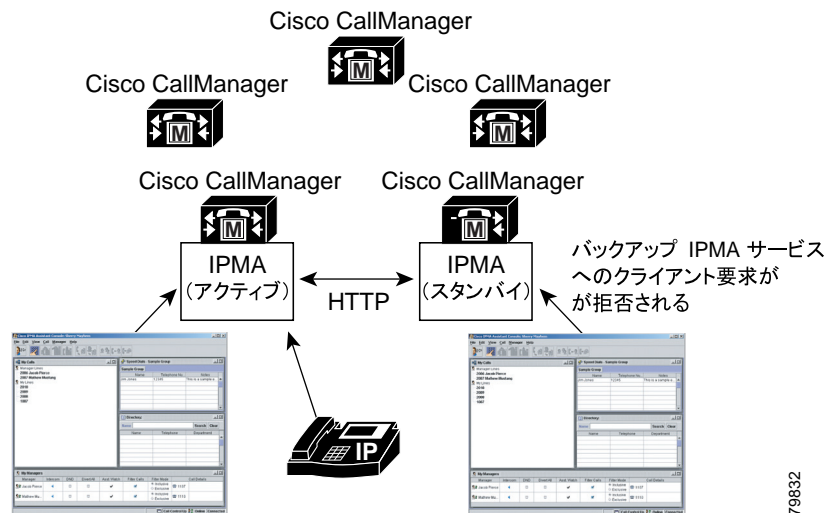
- マネージャの電話機で実行される HTTP サービスをホストする。
- マネージャが設定に使用する Web ページをホストする。
- サードパーティ コール制御用の Cisco CTIManager を通じて、Cisco CallManager クラスタと通信する。Cisco IPMA が必要とする CTI 接続は、クラスタ内の全ユーザに対して 1 つだけです。
- データベースのデータにアクセスする。
- Assistant Console アプリケーションをサポートする。

Cisco CallManager は、Cisco IPMA サービスの冗長化をサポートしています。冗長化を実現するには、同じクラスタ内に 2 番目の Cisco IPMA サービスを設定する必要があります。

IPMA は、アクティブ/スタンバイ サーバモデルを利用して冗長化を実装します。常にアクティブのまま、すべての Assistant Console アプリケーションと電話機にサービスを提供する IPMA サーバは 1 台だけです。他のサーバはスタンバイ モードになり、アクティブなサーバの障害を検出します。障害を検出した場合は、バックアップ サーバが機能を引き継ぎ、アクティブなサーバになります。障害発生時にアクティブになっていた接続は、すべて新しいサーバ上に復元されるため、ユーザに対するサービスは中断することなく続行されます。

アクティブなサーバに障害が発生した場合、Assistant Console アプリケーションは、バックアップサーバに自動的にフェールオーバーします。アプリケーションが障害を検出する間隔は、Cisco IPMA Assistant Console Heartbeat Interval サービス パラメータ (P.3-14 の「Cisco IPMA のサービス パラメータの設定」を参照) によって決まります。ハートビート間隔を小さくすると、フェールオーバーまでの時間が短くなります。図 3-2 を参照してください。

図 3-2 Cisco IPMA の冗長化



Cisco IPMA サービスには、サービスに対する不正アクセスを防止するための組み込みセキュリティが含まれています。アシスタント コンソールで収集されたユーザ ID とパスワードは、ネットワークを通じて送信される前に暗号化されます。アシスタントを装う不正ユーザは、Assistant Console によってブロックされます。

アシスタント コンソール インターフェイス

Cisco IPMA は、次のマネージャ用およびアシスタント用アシスタント コンソール インターフェイスをサポートしています。

- Assistant Console (コール制御、ログオン、アシスタントの初期設定、マネージャ宛コールアクティビティの監視、キーボードショートカットに使用される)
- Manager Configuration (即時転送先の設定に使用される)

管理者は、Cisco CallManager Administration の End User Configuration を使用して、マネージャ用およびアシスタント用に Cisco IPMA を設定します。P.3-5 の「マネージャおよびアシスタント管理用のインターフェイス」を参照してください。

Cisco CallManager により、Cisco IPMA のマネージャ用機能の iDivert と TrnsfVM が Cisco IP Phone を通じて利用できるようになります。Manager Configuration には、ブラウザを使用してアクセスします。アシスタントは、Cisco IP Phone と Assistant Console アプリケーションを使用します。P.3-4 の「マネージャのインターフェイス」および P.3-5 の「アシスタントのインターフェイス」を参照してください。

Cisco IPMA アシスタント コンソールの機能を使用する方法の詳細については、『Cisco IP Manager Assistant ユーザガイド』を参照してください。

Cisco IP Phone のインターフェイス

アシスタントとマネージャはソフトキーを使用して、Cisco IPMA の機能にアクセスします。Cisco IPMA Phone の機能を使用する方法の詳細については、『Cisco IP Manager Assistant ユーザガイド』を参照してください。

P.3-4 の「マネージャのインターフェイス」および P.3-5 の「アシスタントのインターフェイス」を参照してください。

Cisco IPMA のデータベース アクセス アーキテクチャ

Cisco IPMA のすべての設定情報は、データベースに格納されます。マネージャまたはアシスタントがログインすると、IPMA サービスは、そのマネージャまたはアシスタントに関する全データをデータベースから取得し、メモリに保存します。

マネージャのインターフェイス

マネージャの電話機からは、Manager Configuration を除くマネージャ用機能を利用できます。Cisco IPMA は、Cisco IPMA サービスの開始時にマネージャを自動的に IPMA サービスにログインさせます。

マネージャは、Cisco IP Phone のソフトキーを使用して、Cisco IPMA 機能の Do Not Disturb、iDivert、および TrnsfVM にアクセスします。

サイレント機能の状態は、Cisco IP Phone の Status Window に表示されます。

詳細については、『Cisco IP Manager Assistant ユーザガイド』を参照してください。

アシスタントのインターフェイス

アシスタントは、Assistant Console アプリケーションと Cisco IP Phone を使用して Cisco IPMA の機能にアクセスします。アプリケーションである Assistant Console は、応答、即時転送、転送、保留などのコール制御機能を提供します。アシスタントは、Assistant Console を使用して、ログオンとログオフ、アシスタントの初期設定、およびマネージャの初期設定に使用する Manager Configuration ウィンドウの表示を行います。

Assistant Console はアシスタントの回線およびマネージャの共有回線を表示します。アシスタントは共有回線にアクセスして、マネージャ宛のコールを管理します。

インターコムと鳴り分けには、Cisco IP Phone でアクセスできます。アシスタントが Assistant Console からログインすると、共有回線の iDivert ソフトキーと TrnsfVM ソフトキーがアクティブになります。詳細については、『Cisco IP Manager Assistant ユーザガイド』を参照してください。

ソフトキー

Cisco IPMA 機能は、Cisco IP Phone で、iDivert、TrnsfVM、および Do Not Disturb などのソフトキーをサポートしています。ソフトキーは、コールの状態に基づいて表示されます。たとえば、TrnsfVM は、アクティブなコールが存在しない場合には表示されません。

Cisco IPMA は、次のソフトキー テンプレートをサポートしています。

- Standard IPMA Manager : プロキシ モードのマネージャをサポートします。
- Standard IPMA Shared Mode Manager : 共有モードのマネージャをサポートします。
- Standard IPMA Assistant : プロキシ モードまたは共有モードでアシスタントをサポートします。

さらに、Standard User テンプレートを使用すると、保留やダイヤルなどのコール処理ソフトキーを利用できるようになります。管理者は、マネージャやアシスタントが使用するデバイスに対して、適切なソフトキー テンプレートを設定してください。



(注)

デフォルト プロセスでは、デバイスに対してコール処理ソフトキー テンプレートが割り当てられます。

管理者は、Cisco CallManager に含まれている標準のソフトキー テンプレートを使用するほかに、カスタム ソフトキー テンプレートを作成することもできます。ソフトキー テンプレートを Cisco IPMA デバイスに関連付ける場合や、カスタム ソフトキー テンプレートを作成する場合は、Cisco CallManager Administration の Softkey Template 設定を使用します。『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキー テンプレートの設定」を参照してください。

マネージャおよびアシスタント管理用のインターフェイス

管理者は、Cisco CallManager Administration の User メニューにあるオプションを使用して、マネージャおよびアシスタントを設定します。また、マネージャ用およびアシスタント用のデバイスを選択し、オプションでマネージャ用およびアシスタント用の着信インターコム回線を選択します。管理者は、アシスタントに対して設定されたマネージャ用の共有回線を設定します。

P.3-17 の「マネージャおよびアシスタントの設定」を参照してください。

共有回線サポートのある Cisco IPMA のシステム要件

共有回線サポートのある Cisco IPMA が動作するには、次のソフトウェア コンポーネントが必要です。

- Cisco CallManager 5.0
- Microsoft Internet Explorer または Netscape Navigator :
 - － Cisco CallManager Administration を使用した Cisco IPMA 管理では、Microsoft Internet Explorer (IE) 6.0 以降または Netscape 7.1 以降をサポートしています。
 - － Assistant Console アプリケーションのインストール プログラムでは、Microsoft Internet Explorer (IE) 6.0 以降または Netscape 7.1 以降をサポートしています (詳細については、[P.3-7 の「インタラクションおよび制限事項」](#)を参照してください)。
 - － Assistant Console アプリケーションでは、Microsoft Windows 2000 および Microsoft Windows XP をサポートしています。
 - － Manager Configuration アプリケーションでは、Microsoft Internet Explorer (IE) 6.0 以降をサポートしています。

Cisco IPMA をサポートしている SCCP 電話機は、次のとおりです。

- Cisco IP Phone モデル 7970/71
- Cisco IP Phone モデル 7960/61
- Cisco IP Phone モデル 7940/41 ([P.3-9 の「制限事項」](#)を参照してください)



(注)

Cisco IPMA を実行する Cisco IP Phone モデル 7960/61 と 7970/71 には、Cisco モデル 7914 拡張モジュールが備わっています。

Cisco IPMA は Cisco CallManager と同じサーバに自動的にインストールされるため、サーバを別途用意する必要はありません。

インタラクシオンおよび制限事項

次の項では、Cisco IPMA におけるインタラクシオンおよび制限事項について説明します。

- [インタラクシオン \(P.3-7\)](#)
- [制限事項 \(P.3-9\)](#)

インタラクシオン

次の項では、Cisco IPMA が Cisco CallManager アプリケーションと通信する方法について説明します。

- [Bulk Administration Tool \(P.3-7\)](#)
- [エクステンション モビリティ \(P.3-7\)](#)
- [レポート ツール \(P.3-7\)](#)
- [Multilevel Precedence and Preemption \(MLPP\) \(P.3-9\)](#)

Bulk Administration Tool

Bulk Administration Tool (BAT) を使用すると、管理者は多数のユーザ (マネージャとアシスタント) を一度に追加できます。ユーザを 1 人ずつ追加する必要はありません。詳細については、『*Cisco CallManager Bulk Administration Tool ユーザガイド*』を参照してください。

追加情報

[P.3-27 の「関連項目」](#) を参照してください。

エクステンション モビリティ

Cisco CallManager エクステンション モビリティの機能を使用するマネージャは、同時に Cisco IPMA も使用できます。マネージャは、エクステンション モビリティを使用して Cisco IP Phone にログインし、Cisco IPMA サービスを選択します。IPMA サービスが起動すると、マネージャはアシスタントおよび IPMA 機能 (サイレントなど) にアクセスできます。

IPMA とともに Cisco CallManager エクステンション モビリティにアクセスするには、管理者が Cisco CallManager Administration の Cisco IPMA Manager Configuration ウィンドウ (End User Configuration ウィンドウからアクセス) で、Mobile Manager チェックボックスをオンにします。[P.3-18 の「共有回線モード用のマネージャの設定とアシスタントの割り当て」](#) を参照してください。デバイス プロファイルの設定の詳細については、『*Cisco CallManager アドミニストレーションガイド*』の「新規ユーザ デバイス プロファイルの設定」を参照してください。Cisco CallManager エクステンション モビリティの詳細については、[第 1 章「Cisco CallManager エクステンション モビリティ」](#) を参照してください。

レポート ツール

Cisco IPMA は、静的な情報を CDR Analysis and Reporting (CAR) ツールで提供し、設定に対する変更の要約を変更ログで提供します。ここでは、次のレポート ツールについて説明します。

CDR Analysis and Reporting

Cisco IPMA は、マネージャとアシスタントのコール完了統計、およびマネージャとアシスタントのインベントリ レポートをサポートしています。コール完了統計は、CDR Analysis and Reporting (CAR) ツールでサポートされます。インベントリ レポートは、Cisco CallManager Serviceability でサポート

されます。詳細については、『Cisco CallManager Serviceability システム ガイド』、『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』、および『CDR Analysis and Reporting Administration Guide』を参照してください。

IPMAChangeLog*.txt

管理者は、Manager Configuration または Assistant Configuration に対する変更の要約を確認できます。マネージャは、URL を参照して Manager Configuration にアクセスすることで、デフォルト値を設定できます。

アシスタントは Assistant Console からマネージャのデフォルト値を変更できます。



(注) URL および Manager Configuration については、『Cisco IP Manager Assistant ユーザ ガイド』を参照してください。

設定値が変更されると、その情報は ipma_changeLogxxx.log というログ ファイルに送信されます。このログ ファイルは、IPMA サービスを実行するサーバ上の次の場所にあります。

```
file get activelog tomcat/logs/ipma/log4j/
```

管理者は、Serviceability Real-Time Monitoring Tool (RTMT) にある Trace Collection Tool を使用して、サーバからこのログ ファイルをダウンロードできます。詳細については、『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

このログ ファイルには、次のフィールドが含まれています。

- LineNumber : ログ ファイル内に変更情報がある回線。
- TimeStamp : 設定値が変更された時刻。
- for Manager/Assistant : 変更が、マネージャまたはアシスタントのどちらに対するものであるかを示す。
- for Userid : 変更対象となったマネージャまたはアシスタントのユーザ ID。
- by Manager/Assistant : 変更が、マネージャまたはアシスタントのどちらによって実施されたかを示す。
- by Userid : 変更を実施したマネージャまたはアシスタントのユーザ ID。
- Parameter Name : 変更された項目 (転送先電話番号など)。
- Old Value : 変更前の設定値。
- New Value : 変更後の設定値。

ログ ファイル内の情報はカンマで区切られているため、管理者は、Microsoft Excel などのスプレッドシート アプリケーションを使用してログ ファイルを開くことができます。ログ ファイルの内容を Microsoft Excel アプリケーションで保存するには、次の手順に従います。

手順

- ステップ 1** Microsoft Excel アプリケーションを起動します。
- ステップ 2** File > Open を選択して IPMA.txt ファイルを開きます。
- ステップ 3** Original data type を選択し、ファイルの種類を Delimited にして、Next をクリックします。
- ステップ 4** Delimiters として Comma を選択し、Next をクリックします。

ステップ 5 上の操作が完了したら、**Finish** をクリックします。

Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)

次に、共有回線サポートのある Cisco IPMA と MLPP とのインタラクションについて説明します。

- コールの優先順位は、IPMA によるコールの処理時に保存されます。たとえば、アシスタントがコールを転送する際、システムはコールの優先順位を保存します。
- IPMA はコールの優先順位を認識しないので、Assistant Console でコールの優先順位について追加のインジケータを送信することはありません。

制限事項

Cisco IPMA には、次の制限事項があります。

- Cisco IPMA は Cisco IP SIP Phone をサポートしていません。
- 1 人のマネージャには最大 10 人のアシスタントを割り当てることができます。
- 1 人のアシスタントは最大 33 人のマネージャをサポートできます (各マネージャが IPMA 制御の回線を持っている場合)。
- Cisco IPMA は、Cisco CallManager クラスタごとに最大 1024 人のマネージャと 1024 人のアシスタントをサポートします。
- Cisco IPMA Assistant Console は、ハントグループ/キューをサポートしていません。
- Cisco IPMA Assistant Console は、レコードおよびモニタリングをサポートしていません。
- Cisco IPMA Assistant Console は、オンフック転送 (Transfer ソフトキーを押して受話器を置くことによって転送を完了するコール転送機能) をサポートしていません。
- Cisco IPMA Assistant Console は、ワンタッチコールピックアップ機能をサポートしていません。
- Cisco IP Phone モデル 7940 がサポートする回線ボタンまたは短縮ダイヤルボタンは 2 つだけです。
- Microsoft Internet Explorer バージョン 6 を実行する Windows XP コンピュータに Assistant Console アプリケーションをインストールするには、事前に Windows XP Service Pack 1 とともに Microsoft Java Virtual Machine (JVM) をインストールしておく必要があります。

Cisco IPMA のインストールと有効化

Cisco IPMA (サブレット) は、Cisco Tomcat がロードします。Cisco Tomcat は、Cisco CallManager のインストール時にインストールおよび起動されます。詳細については、P.3-2 の「Cisco IPMA サービス」を参照してください。

Cisco IPMA をシステムで利用できるようにするには、インストール後に管理者が次の3つの作業を実施します。

1. Tools メニューの下にある Cisco CallManager Serviceability Service Activation を使用して、Cisco IP Manager Assistant サービスを有効にします。詳細については、『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。
2. Cisco IP Manager Assistant サービス用の必要なサービス パラメータを設定します。P.3-14 の「Cisco IPMA のサービス パラメータの設定」を参照してください。
3. Serviceability Control Center Feature Service を使用して、Cisco IPMA サービスを停止し、もう一度起動します。P.3-15 の「Cisco IPMA サービスの開始」を参照してください。



(注)

Cisco IPMA 機能を英語以外の言語でマネージャまたはアシスタントの電話機とアシスタント コンソールに表示する必要がある場合は、Cisco IPMA を設定する前に、Locale Installer がインストールされていることを確認してください。Cisco IP Telephony Locale Installer のマニュアルを参照してください。

共有回線サポートのある Cisco IPMA の設定

Cisco IPMA を正しく設定するには、設定チェックリストに示す手順を確認して、ユーザとデバイスの設定要件を確認し、マネージャとアシスタントを設定します。



(注) 共有回線サポートのある Cisco IPMA は、プロキシ回線サポートのある Cisco IPMA と同じ Cisco CallManager クラスタ内に共存します。プロキシ回線サポートの設定については、第2章「[プロキシ回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant](#)」を参照してください。

次の項では、設定情報について説明します。

- [共有回線サポートのある Cisco IPMA の設定チェックリスト \(P.3-11\)](#)
- [Cisco IPMA のサービスパラメータの設定 \(P.3-14\)](#)
- [セキュリティに関する考慮事項 \(P.3-15\)](#)
- [Cisco IPMA サービスの開始 \(P.3-15\)](#)
- [マネージャおよびアシスタントの電話機の設定 \(P.3-15\)](#)
- [マネージャおよびアシスタントの設定 \(P.3-17\)](#)

共有回線サポートのある Cisco IPMA の設定チェックリスト

表 3-1 に、Cisco CallManager で共有回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant を設定する論理的な手順を示します。

始める前に

チェックリスト内の情報は、電話機とユーザがすでに設定され、デバイスがユーザに関連付けられていることを想定しています。また、マネージャとアシスタントの間での共有回線表示のため、マネージャのプライマリ回線とアシスタントのセカンダリ回線で同じ電話番号を設定する必要があります。『*Cisco CallManager アドミニストレーションガイド*』の「エンドユーザの追加」、「エンドユーザとデバイスとの関連付け」、「Cisco IP Phone の設定」、および「電話番号の設定の概要」を参照してください。

表 3-1 共有回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant の設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1	Cisco CallManager Serviceability の Service Activation を使用して、Cisco IP Manager Assistant サービスを有効にします。 <i>Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド</i>
ステップ 2	共有回線サポート用に IPMA サービスパラメータを設定します。 Cisco IPMA のサービスパラメータの設定 (P.3-14) 『 <i>Cisco CallManager アドミニストレーションガイド</i> 』の「サービスパラメータの設定」
ステップ 3	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションユーザの CAPF プロファイルを設定します (オプション)。 • セキュリティ用の IPMA サービスパラメータを設定します (オプション)。 Cisco IPMA のサービスパラメータの設定 (P.3-14) セキュリティに関する考慮事項 (P.3-15)
ステップ 4	Serviceability Control Center Feature Services を使用して、Cisco IPMA サービスを停止し、もう一度起動します。 Cisco IPMA サービスの開始 (P.3-15)

表 3-1 共有回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant の設定チェックリスト (続き)



設定手順		関連手順と関連項目
ステップ 5	Cisco IP Phone モデル 7960 または 7970 電話機ボタン テンプレートを追加します。	『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「電話ボタンテンプレートの設定」
ステップ 6	<p>マネージャとアシスタントの Cisco IP Phone パラメータを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • マネージャの電話機を設定する。 • アシスタントの電話機を設定する。 	『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「Cisco IP Phone の設定」
ステップ 7	<p>マネージャの電話機について、次の設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 共有回線モード用のソフトキー テンプレートを割り当てる。 • プライマリ回線を追加する (同じ電話番号とパーティションをアシスタントのセカンダリ回線の電話番号に使用します)。 • プライマリ回線のボイスメール プロファイルを設定する。 • 着信インターコム回線を追加する (オプション)。 • インターコム発信先の短縮ダイヤルを追加する (オプション)。 • ユーザ ロケールを設定する。 • 電話機をリセットする。 	<p>マネージャおよびアシスタントの電話機の設定 (P.3-15)</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「電話機の検索」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「電話機の削除」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「電話番号の設定の概要」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「短縮ダイヤル ボタンの設定」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「電話機のリセット」</p>
	<p> ヒント マネージャの電話設定を自動設定するには、マネージャを設定するときに User Configuration ウィンドウで Automatic Configuration チェックボックスを選択します。詳細については、P.3-16 の「マネージャの電話機」を参照してください。</p>	

表 3-1 共有回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant の設定チェックリスト (続き)

設定手順		関連手順と関連項目
ステップ 8	<p>アシスタントの電話機について、次の設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ソフトキー テンプレートを割り当てる。 14 ボタン拡張モジュールを追加する (オプション)。 電話機ボタン テンプレートを割り当てる。 プライマリ回線を追加する。 設定済みの各マネージャ用の共有回線を追加する (同じ電話番号とパーティションをアシスタントのセカンダリ回線とマネージャのプライマリ回線に使用します)。 着信インターコム回線を追加する (オプション)。 設定済みの各マネージャの着信インターコム回線に対する短縮ダイヤルを追加する (オプション)。 ユーザ ロケールを設定する。 電話機をリセットする。 <p> ヒント アシスタントの電話設定を自動設定するには、アシスタントを設定するときに User Configuration ウィンドウで Automatic Configuration チェックボックスを選択します。詳細については、P.3-17の「アシスタントの電話機」を参照してください。</p>	<p>マネージャおよびアシスタントの電話機の設定 (P.3-15)</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話機の検索」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話機の削除」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定の概要」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「短縮ダイヤル ボタンの設定」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話機のリセット」</p>
ステップ 9	<p>Cisco IP Manager Assistant を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しいマネージャを作成する。 マネージャ用の共有回線を設定する。 マネージャにアシスタントを割り当てる。 アシスタント用の回線を設定する。 インターコム回線 (オプション)。 	<p>共有回線モード用のマネージャの設定とアシスタントの割り当て (P.3-18)</p> <p>マネージャの Cisco IPMA 情報の削除 (P.3-19)</p> <p>アシスタントの共有回線と着信インターコム回線の設定 (P.3-21)</p>
ステップ 10	<p>アシスタント用のダイヤル規則を設定します。</p>	<p>『Cisco CallManager システム ガイド』の「アプリケーション ダイヤル規則設定のエラーチェック」</p>
ステップ 11	<p>Assistant Console アプリケーションをインストールします。</p>	<p>Assistant Console アプリケーションのインストール (P.3-25)</p>
ステップ 12	<p>マネージャとアシスタントのコンソール アプリケーションを設定します。</p>	<p>Cisco IP Manager Assistant ユーザ ガイド</p>

Cisco IPMA のサービス パラメータの設定

Cisco IPMA サービスのサービス パラメータには、汎用パラメータ、汎クラスタ パラメータ、およびマネージャとアシスタントの IPMA 自動設定を使用する場合に設定する必要がある汎クラスタ パラメータの3つのカテゴリがあります。汎クラスタ パラメータは、すべての Cisco IPMA サービス用に1回指定します。汎用パラメータは、インストールされている各 Cisco IPMA サービスに対して指定します。

Cisco IPMA サービス パラメータを設定するには、Cisco CallManager Administration を使用してサービス パラメータにアクセスします。**System > Service Parameters** を選択します。Cisco IPMA アプリケーションが配置されているサーバを選択し、Cisco IP Manager Assistant サービスを選択します。

Cisco IPMA には、次に示す設定必須のサービス パラメータがあります。

- すべてのサーバに適用される汎クラスタ パラメータ
 - Cisco IPMA Server (Primary) IP Address : デフォルト値なし。この IP アドレスは、管理者が手動で入力する必要があります。
 - Cisco IPMA Server (Backup) IP Address : デフォルト値なし。この IP アドレスは、管理者が手動で入力する必要があります。
 - Cisco IPMA Server Port : デフォルト値はポート 2912。
 - Cisco IPMA Assistant Console Heartbeat Interval : デフォルト値は 30 秒。この間隔タイマーは、アシスタント コンソールでフェールオーバーが発生するまでの時間を指定します。
 - Cisco IPMA Assistant Console Request Timeout : デフォルト値は 30 秒。
 - Cisco IPMA RNA Forward Calls : デフォルト値は False。このサービス パラメータは、共有回線サポートに適用されません。
 - Cisco IPMA RNA Timeout : デフォルト値は 10 秒。このサービス パラメータは、共有回線サポートに適用されません。
 - CTIManager Connection Security Flag : Cisco IPMA サービスの CTIManager 接続のセキュリティが有効か無効かを示します。有効にすると、Cisco IPMA が、CAPF Profile Instance Id for Secure Connection to CTIManager サービス パラメータで設定された Application CAPF プロファイルを使用して、CTIManager へのセキュアな接続を確立します。
- 設定済みの各サーバの Cisco IPMA サービス パラメータ
 - CTIManager (Primary) IP Address : デフォルト値なし。コール制御に使用するプライマリ CTIManager の IP アドレスを入力します。
 - CTIManager (Backup) IP Address : デフォルト値なし。この IP アドレスは、管理者が手動で入力する必要があります。
 - Route Point Device Name for Proxy Mode : 共有回線サポートには適用されません。
 - CAPF Profile Instance Id for Secure Connection to CTIManager : この Cisco IPMA サーバが CTIManager へのセキュアな接続を開くために使用する Application User IPMASecureSysUser の Application CAPF Profile の Instance ID を指定します。CTIManager Connection Security Flag が有効な場合は、このパラメータを設定する必要があります。

マネージャおよびアシスタントの IPMA 自動設定を使用する場合、Cisco IPMA には、次に示す設定必須の汎クラスタ パラメータが含まれます。

- ソフトキー テンプレート用の汎クラスタ パラメータ
 - Assistant Softkey Template : デフォルトでは、Standard IPMA Assistant ソフトキー テンプレートが指定されています。このパラメータは IPMA アシスタントの自動設定の間、アシスタントのデバイスに割り当てられたソフトキー テンプレートを指定します。
 - Manager Softkey Template for Proxy Mode : このサービス パラメータは、共有回線サポートに適用されません。

- Manager Softkey Template for Shared Mode : デフォルトでは、Standard Shared Mode Manager が指定されています。このパラメータは、IPMA マネージャの自動設定時にマネージャのデバイスに割り当てられた共有モードのソフトキー テンプレートを指定するように設定します。
- IPMA Device Configuration Defaults for Proxy Mode : これらのパラメータは、共有回線サポートのある IPMA に適用されません。
- Proxy Directory Number Range for Proxy Mode : これらのパラメータは、共有回線サポートのある IPMA に適用されません。
- Proxy Directory Number Prefix for Proxy Mode : これらのパラメータは、共有回線サポートのある IPMA に適用されません。

セキュリティに関する考慮事項

Cisco IPMA は、CTI へのセキュアな接続（トランスポート層セキュリティ接続）をサポートしています。

管理者は、**User Management > Application User CAPF Profile** を選択して CAPF プロファイルを（各 IPMA ノードに 1 つずつ）設定する必要があります。Application User CAPF Profile Configuration ウィンドウで、Application User ドロップダウンリストボックスから IPMASecureSysUser を選択します。

IPMA のセキュリティの設定については、P.3-14 の「Cisco IPMA のサービス パラメータの設定」の CTIManager Connection Security Flag および CAPF Profile Instance Id for Secure Connection to CTIManager サービス パラメータの説明を参照してください。

『Cisco CallManager セキュリティ ガイド』には、CTI アプリケーション用のセキュリティ設定に関する詳細な手順の説明があります。

Cisco IPMA サービスの開始

Cisco IPMA サービスは、Cisco Tomcat 上でアプリケーションとして動作します。Cisco IPMA サービスを開始または停止するには、Serviceability Control Center Feature Services ウィンドウを使用します。

マネージャおよびアシスタントの電話機の設定

各 IPMA マネージャおよびアシスタントにデバイスを設定し、関連付ける必要があります。開始する前に、電話機のタイプに応じて次のタスクを実行します。

Cisco IP Phone モデル 7940/41、7960/61、および 7970/71

- Cisco IPMA を使用するマネージャ用およびアシスタント用の Cisco IP Phone モデル 7940/41、7960/61、または 7970/71 を追加する。電話機を追加するには、次のいずれかの方法を実行します。
 - 手動 (**Device > Phone** を選択)。
 - 自動登録
 - BAT
- Standard IPMA Assistant 電話機ボタン テンプレートを割り当てる。

Cisco IP Phone モデル 7940/41

IPMA に Cisco IP Phone モデル 7940/41 を使用する際には、次の制限事項が適用されます。

- 次の項目を設定して、マネージャごとに Cisco IP Phone モデル 7940/41 を追加する。
 - プライマリ回線用とインターコム用の 2 つの回線

- アシスタント インターコムへの短縮ダイヤル
- 共有回線サポートを持つマネージャ用のソフトキー テンプレート
- 次の項目を設定して、アシスタントごとに Cisco IP Phone モデル 7940/41 を追加する。
 - プライマリ回線用とインターコム用の2つの回線
 - マネージャ インターコムへの短縮ダイヤル
 - アシスタント用のソフトキー テンプレート



(注) シスコは、IPMA への Cisco IP Phone モデル 7940/41 の使用をサポートしていますが、Cisco IP Phone モデル 7960/61 または Cisco IP Phone モデル 7970/71の方がより多くの機能を備えているので、こちらの使用をお勧めします。

タスクの実行後、次の項で説明されている手順に従って電話機を設定します。

- マネージャの電話機 (P.3-16)
- アシスタントの電話機 (P.3-17)
- マネージャおよびアシスタント以外の電話機 (P.3-17)

マネージャの電話機

この項では、マネージャの電話機を設定するための IPMA の要件およびヒントについて説明します。

マネージャの電話機の設定

次の設定値で、マネージャの Cisco IP Phone を設定します。

- Standard IPMA Shared Mode Manager ソフトキー テンプレート (Immediate Divert ソフトキーと Transfer to Voice Mail ソフトキーが含まれている必要があります)
- プライマリ回線
- 共有回線サポート用の追加の回線 (オプション)
- プライマリ回線のボイスメール プロファイル
- スピーカフォン オプションまたはヘッドセット オプションを使用した自動応答をサポートするための、着信インターコム回線 (オプション)
- インターコム発信先の短縮ダイヤル (オプション)
- ユーザ ロケール

マネージャを設定するとき End User Configuration ウィンドウの Automatic Configuration チェックボックスを選択しておくこと、設定の一部を自動化できます。手順については、P.3-18の「共有回線モード用のマネージャの設定とアシスタントの割り当て」を参照してください。

Automatic Configuration は、マネージャ デバイスまたはデバイス プロファイルの次の項目を設定します。

- ソフトキー テンプレート
- インターコム回線用のスピーカフォンを使用した自動応答

IPMA は、Cisco IP Phone モデル 7940/41 をサポートしています。詳細については、P.3-15の「Cisco IP Phone モデル 7940/41」を参照してください。

アシスタントの電話機

この項では、アシスタントの電話機を設定するための IPMA の要件およびヒントについて説明します。手順については、[P.3-21](#) の「アシスタントの共有回線と着信インターコム回線の設定」を参照してください。

アシスタントの電話機の設定

次の設定値で、アシスタントの Cisco IP Phone を設定します。

- Standard IPMA Assistant ソフトキー テンプレート (iDivert ソフトキーと TrnsfVM ソフトキーが含まれている必要があります)
- デフォルトの 14 ボタン拡張モジュール (オプション)
- Standard IPMA Assistant 電話機ボタン テンプレート
- プライマリ回線
- 設定済みの各マネージャ用の共有回線 (同じ電話番号とパーティションをマネージャのプライマリ回線として使用します)
- スピーカフォン オプションまたはヘッドセット オプションを使用した自動応答をサポートするための、着信インターコム回線
- 設定済み各マネージャの着信インターコム回線に対する短縮ダイヤル
- ユーザ ロケール

IPMA は、Cisco IP Phone モデル 7940/41 をサポートしています。詳細については、[P.3-15](#) の「Cisco IP Phone モデル 7940/41」を参照してください。

マネージャおよびアシスタント以外の電話機

マネージャおよびアシスタントのデバイスの設定に加えて、Cisco CallManager クラスタ内のその他すべてのユーザも設定します。適切に設定することで、マネージャおよびアシスタントが、クラスタ内のその他すべてのユーザとの間でコールを発着信できるようになります。マネージャおよびアシスタント以外のユーザの電話機に対する共有回線サポートには、特別な設定要件はありません。

マネージャおよびアシスタントの設定

Cisco CallManager の End User Configuration ウィンドウで、Cisco IPMA 機能を使用するマネージャおよびアシスタントの設定値を設定します。このウィンドウでは、次の機能を実行します。

- マネージャおよびアシスタントのデバイスを選択する。
- 必要に応じて、マネージャまたはアシスタントのデバイスを自動生成する。
- プライマリ回線、およびインターコム機能用の着信インターコム回線を設定する。たとえば、マネージャのインターコム回線の内線は 3102 です。この回線は、アシスタントからのインターコム コールを受信します。コンソールには、アシスタントの回線 1 (1102) と回線 2 (1103) が表示されています。アシスタントは、これらの回線に応答します。
- マネージャのアシスタントを設定する。
- End User Configuration ウィンドウの表示で使用する言語を選択する。

次の項では、マネージャとアシスタントの設定について詳しく説明します。

- 共有回線モード用のマネージャの設定とアシスタントの割り当て ([P.3-18](#))
- マネージャの Cisco IPMA 情報の削除 ([P.3-19](#))
- アシスタントの Cisco IPMA 情報の削除 ([P.3-23](#))
- アシスタントの共有回線と着信インターコム回線の設定 ([P.3-21](#))

共有回線モード用のマネージャの設定とアシスタントの割り当て

Cisco IPMA マネージャを設定し、マネージャにアシスタントを割り当てるには、次の手順に従います。新しいユーザの設定およびそのユーザへのデバイスの割り当てについては、『*Cisco CallManager アドミニストレーションガイド*』の「エンドユーザの追加」を参照してください。マネージャのプライマリ回線とアシスタントのセカンダリ回線で同じ電話番号を設定する方法については、『*Cisco CallManager アドミニストレーションガイド*』の「電話番号の設定の概要」を参照してください。



ヒント

アシスタントの Cisco IPMA 情報を設定する前に、Cisco IPMA マネージャの情報を設定してください。

手順

- ステップ 1** IPMA マネージャを設定し、既存のユーザにアシスタントを割り当てるには、**User Management > End User** を選択します。Find and List Users ウィンドウで、**Find** ボタンをクリックします。このウィンドウには、Cisco CallManager で設定されているすべてのエンドユーザが表示されます。
- ステップ 2** 選択されたマネージャのユーザ情報を表示するには、ユーザ名をクリックします。
- End User Configuration ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** マネージャの IPMA 情報を設定するには、Related Links ドロップダウン リスト ボックスから **Cisco IPMA Manager** を選択し、**Go** をクリックします。
- ステップ 4** Cisco IPMA Manager Configuration ウィンドウが開き、マネージャ情報、アシスタント情報、および IPMA 制御回線が表示されます。
- ステップ 5** ソフトキー テンプレートと、IPMA サービス パラメータに基づいたマネージャの電話機用のインターコム回線用スピーカフォンを使用した自動応答を自動的に設定するには、**Automatic Configuration** チェックボックスをオンにします。
- ステップ 6** Uses Shared Lines チェックボックスをクリックします。
- ステップ 7** Device Name/Profile ドロップダウン リスト ボックスで、マネージャに関連付けるデバイス名またはデバイス プロファイルを選択します（エクステンション モビリティでは、デバイス プロファイルを利用できます）。Cisco IPMA とともに Cisco CallManager エクステンション モビリティを使用する方法については、[P.3-7 の「エクステンション モビリティ」](#)を参照してください。
- (注)** マネージャが在宅勤務をする場合は、**Mobile Manager** チェックボックスをクリックし、デバイス プロファイルを選択します。デバイス プロファイルを選択した場合、マネージャは IPMA にアクセスする前に、エクステンション モビリティを使用して電話機にログオンする必要があります。
- ステップ 8** 必要に応じて、Intercom Line ドロップダウン リスト ボックスで、マネージャのインターコム回線表示を選択します。

- ステップ 9** アシスタントをマネージャに割り当てるには、Available Assistants リストでアシスタント名をクリックし、下矢印をクリックして、それを Associated Assistants リスト ボックスに移動します。



ヒント アシスタント名を強調表示し、**Edit Assistant** リンクをクリックすると、Cisco IPMA Assistant Configuration ウィンドウに移動できます。

- ステップ 10** IPMA 制御回線を設定するには、Available Lines リスト ボックスで対象の回線をクリックし、下矢印をクリックして、それを Selected Lines リスト ボックスに移動します。



(注) IPMA 制御の回線は必ず共有回線の電話番号である必要があります。

Selected Lines 選択ボックスと Cisco IPMA コントロールから回線を削除する場合は、その回線を強調表示して、上矢印をクリックします。

- ステップ 11** Save ボタンをクリックします。

Automatic Configuration チェックボックスをオンにして、サービス パラメータが無効な場合、メッセージが表示されます。

自動設定に成功すると、マネージャ デバイスがリセットされます。デバイス プロファイルを設定した場合、マネージャはログアウトしてからデバイスにログインして、設定を適用する必要があります。



(注) 名前、ユーザ ロケール、PIN など、IPMA 以外のユーザ設定が変更された場合、その変更は、ユーザ（マネージャまたはアシスタント）が Cisco IPMA からログアウトし、もう一度ログインするまで実施されません。

追加情報

[P.3-27 の「関連項目」](#) を参照してください。

マネージャの Cisco IPMA 情報の削除

マネージャの Cisco IPMA 情報を削除するには、次の手順に従います。マネージャの IPMA 以外の情報の削除については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの追加」を参照してください。

手順

- ステップ 1** IPMA 情報を削除するマネージャを検索するには、Cisco CallManager Administration で、**User Management > End User** を選択します。
- ステップ 2** Find and List Users ウィンドウで、**Find** ボタンをクリックします。このウィンドウには、Cisco CallManager で設定されているすべてのエンドユーザが表示されます。

ステップ 3 Find and List Users ウィンドウで、Cisco IPMA 情報を削除するマネージャを選択します。End User Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 Related Links ドロップダウンリスト ボックスで **Cisco IPMA Manager** を選択し、**Go** をクリックします。

選択したユーザの Cisco IPMA Manager Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 **Delete** ボタンをクリックします。

更新した内容は、すぐに適用されます。

追加情報

P.3-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

マネージャの Cisco IPMA 設定の更新

マネージャの Cisco IPMA 情報を更新するには、次の手順に従います。マネージャの IPMA 以外の情報の更新については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの追加」を参照してください。

手順

ステップ 1 IPMA 情報を更新するマネージャを検索するには、Cisco CallManager Administration で、**User Management > End User** を選択します。

ステップ 2 Find and List Users ウィンドウで、**Find** ボタンをクリックします。このウィンドウには、Cisco CallManager で設定されているすべてのエンドユーザが表示されます。

ステップ 3 Find and List Users ウィンドウで、Cisco IPMA 情報を更新するマネージャを選択します。End User Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 Related Links ドロップダウンリスト ボックスで **Cisco IPMA Manager** を選択し、**Go** をクリックします。

選択したユーザの Cisco IPMA Manager Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 デバイス名、IPMA が制御する回線、インターコム回線表示など、変更する情報を更新します。

ステップ 6 **Save** ボタンをクリックします。

更新した内容は、すぐに適用されます。



(注) **Automatic Configuration** チェックボックスをオンにすると、ソフトキー テンプレートと、IPMA サービス パラメータに基づいたマネージャの電話機用のインターコム回線用スピーカフォンを使用した自動応答が自動的に設定されます。



(注)

名前、ユーザ ロケール、PIN など、IPMA 以外のユーザ設定が変更された場合、その変更は、ユーザ（マネージャまたはアシスタント）が Cisco IPMA からログアウトし、もう一度ログインするまで実施されません。

追加情報

P.3-27 の「関連項目」を参照してください。

アシスタントの共有回線と着信インターコム回線の設定

次の項目を設定するには、End User Configuration ウィンドウの Cisco IPMA Assistant Configuration を使用します。

- アシスタントの電話機のデバイス名。
- アシスタントがマネージャ宛のコールの応答に使用するインターコム回線（オプション）。
- アシスタントの電話機を関連付けるマネージャの共有回線（マネージャとアシスタントが同じ電話番号を共有している場合、これは自動的に実行されます）。

管理者は、1 つ以上の回線を共有回線表示で設定できます。Cisco CallManager システムは、ある電話番号が同じパーティション内の複数のデバイスに表示される場合、その電話番号を共有回線と見なしません。

共有回線表示では、たとえば、1 つの電話番号がマネージャの電話機の回線 1 とアシスタントの電話機の回線 2 に表示されるように共有回線を設定することができます。

アシスタントについてマネージャの共有回線表示と着信インターコム表示を設定するには、次の手順を実行します。新しいユーザの設定とデバイスの関連付けについては、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの追加」を参照してください。



ヒント

アシスタントの Cisco IPMA 情報を設定する前に、Cisco IPMA マネージャの情報を設定し、マネージャにアシスタントを割り当てる必要があります。P.3-18 の「共有回線モード用のマネージャの設定とアシスタントの割り当て」を参照してください。

手順

ステップ 1 IPMA 情報を更新するアシスタントを検索するには、Cisco CallManager Administration で、**User Management > End User** を選択します。

ステップ 2 Find and List Users ウィンドウで、**Find** ボタンをクリックします。このウィンドウには、Cisco CallManager で設定されているすべてのエンドユーザが表示されます。

ステップ 3 選択されたアシスタントのユーザ情報を表示するには、ユーザ名をクリックします。

End User Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 アシスタントの IPMA 情報を設定するには、Related Links ドロップダウン リスト ボックスから **Cisco IPMA Assistant** を選択し、**Go** をクリックします。

選択したユーザの Cisco IPMA Assistant Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 Device Name ドロップダウン リスト ボックスで、アシスタントに関連付けるデバイス名を選択します。

ステップ 6 Intercom Line ドロップダウン リスト ボックスで、アシスタントのインターコム回線表示を選択します。



ヒント 既存のマネージャ設定情報を表示するには、Associated Managers リストにあるマネージャ名をクリックし、**Edit Manager** リンクをクリックします。Cisco IPMA Manager IPMA Configuration ウィンドウが表示されます。Cisco IPMA Assistant Configuration ウィンドウに戻るには、Cisco IPMA Manager Configuration ウィンドウでアシスタント名を強調表示し、**Edit Assistant** リンクをクリックします。

Associated Manager 選択リスト ボックスに、前に設定した IPMA マネージャの名前が表示されます。



(注) Automatic Configuration チェックボックスをオンにすると、システムは Cisco IPMA サービス パラメータの設定に基づいて自動的にソフトキー テンプレートとインターコム回線を設定します。また、システムはインターコム回線用のスピーカフォンを使用した自動応答を設定します。

ステップ 7 マネージャの回線のアシスタントの回線に関連付けるには、Manager Association to the Assistant Line 選択ボックスで次の手順を実行します。

- a. Available Lines ドロップダウン リスト ボックスで、マネージャの回線に関連付けるアシスタントの回線を選択します。
- b. Manager Names ドロップダウン リスト ボックスで、アシスタントに関連付ける、設定済みのマネージャ名を選択します。
- c. Manager Lines ドロップダウン リスト ボックスで、アシスタントの回線に関連付けるマネージャの回線を選択します。

ステップ 8 Save ボタンをクリックします。

更新した内容は、すぐに適用されます。自動登録を選択している場合、アシスタント デバイスは自動的にリセットされます。

追加情報

P.3-27 の「関連項目」を参照してください。

アシスタントの Cisco IPMA 情報の削除

アシスタントの Cisco IPMA 情報を削除するには、次の手順に従います。アシスタントの IPMA 以外の情報の削除については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの追加」の項を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** IPMA 情報を削除するアシスタントを検索するには、Cisco CallManager Administration で、**User Management > End User** を選択します。
- ステップ 2** Find and List Users ウィンドウで、**Find** ボタンをクリックします。このウィンドウには、Cisco CallManager で設定されているすべてのエンドユーザが表示されます。
- ステップ 3** Find and List Users ウィンドウで、Cisco IPMA 情報を削除するアシスタントを選択します。End User Configuration ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** Related Links ドロップダウンリスト ボックスで **Cisco IPMA Assistant** を選択し、**Go** をクリックします。
- 選択したユーザの Cisco IPMA Assistant Configuration ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** **Delete** ボタンをクリックします。
- 更新した内容は、すぐに適用されます。
-



(注)

名前、ユーザ ロケール、PIN など、IPMA 以外のユーザ設定が変更された場合、その変更は、ユーザ（マネージャまたはアシスタント）が Cisco IPMA からログアウトし、もう一度ログインするまで実施されません。

追加情報

[P.3-27 の「関連項目」](#) を参照してください。

アシスタントの Cisco IPMA 設定の更新

アシスタントの Cisco IPMA 情報を更新するには、次の手順に従います。アシスタントの IPMA 以外の情報の更新については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの追加」を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** IPMA 情報を更新するアシスタントを検索するには、Cisco CallManager Administration で、**User Management > End User** を選択します。
- ステップ 2** Find and List Users ウィンドウで、**Find** ボタンをクリックします。このウィンドウには、Cisco CallManager で設定されているすべてのエンドユーザが表示されます。

ステップ 3 Find and List Users ウィンドウで、Cisco IPMA 情報を更新するアシスタントを選択します。End User Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 Related Links ドロップダウンリスト ボックスで **Cisco IPMA Assistant** を選択し、**Go** をクリックします。

選択したユーザの Cisco IPMA Assistant Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 デバイス名、インターコム回線、マネージャ関連付け情報など、変更対象の情報を更新します。

ステップ 6 **Save** ボタンをクリックします。

更新した内容は、すぐに適用されます。



(注) 自動設定の実行中、システムは自動的に IPMA サービス パラメータの設定に基づいてソフトキー テンプレートおよびインターコム回線を設定し、インターコム回線用のスピーカフォンの自動応答を設定します。自動設定を使用しない場合は、**Automatic Configuration** チェックボックスをオフにします。



(注) 名前、ユーザ ロケール、PIN など、IPMA 以外のユーザ設定が変更された場合、その変更は、ユーザ（マネージャまたはアシスタント）が Cisco IPMA からログアウトし、もう一度ログインするまで実施されません。

追加情報

[P.3-27 の「関連項目」](#) を参照してください。

ダイヤル規則の設定

管理者は、ダイヤル規則設定を使用して、ダイヤル規則の優先順位を追加およびソートできます。Cisco IPMA のダイヤル規則は、アシスタントがダイヤルする電話番号から自動的に数字を除去したり、電話番号に数字を追加したりします。たとえば、7 桁の電話番号の先頭に、外線発信用の数字 9 を自動的に追加します。

次の各項では、アプリケーション ダイヤル規則の追加情報を示します。

- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「アプリケーション ダイヤル規則設定の設計」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「アプリケーション ダイヤル規則設定のエラー チェック」

Cisco IPMA のマネージャおよびアシスタントへの情報提供

URL にアクセスして、Cisco IPMA の Assistant Console アプリケーションをインストールします。管理者は、P.3-25 の「Assistant Console アプリケーションのインストール」に示す URL をアシスタントに通知します。



(注) Assistant Console アプリケーションのインストール プログラムでは、Netscape 7.1 以降および Microsoft Internet Explorer 6.0 以降をサポートしています。

Assistant Console アプリケーションのインストール



(注) Cisco CallManager Release 4.0 または 4.1 からアップグレードした場合は、Assistant Console アプリケーションを再インストールする必要があります。

インストールを開始するには、次の URL にアクセスします。

`https://<IPMA サーバ>:8443/ma/Install/IPMAConsoleInstall.jsp`

変数の意味は、次のとおりです。

IPMA サーバには、IPMA サービスを実行しているサーバの IP アドレスを指定します。



ヒント

インストーラは、適切なローカリゼーションパックが添付されている場合、URL に適切なパラメータを含めることでローカライズできます。たとえばフランス語を使用する場合には、URL の末尾に `?locale=fr_FR` というパラメータを付加します。

Assistant Console ダイアログ オプション

アシスタント コンソールには、次のオプションを含むダイアログが表示されます。

- **Location to Install** : Assistant Console ソフトウェアのインストール先となるディレクトリのパス。デフォルトでは、次のパスが指定されます。
`c:\Program Files\Cisco\IPMA Assistant Console\`
- **Create Desktop Shortcut** : デフォルト値は True。このパラメータは、アシスタント コンソールでショートカットを作成するかどうかを指定します。
- **Create StartMenu Shortcut** : デフォルト値は True。このパラメータによって、Start メニュー (**Start > Programs > Cisco IPMA > IPMA Assistant Console**) にショートカットを作成するかどうかが決まります。
- **Install JRE** : デフォルト値は True。このパラメータによって、IPMA アシスタント コンソールとともに JRE をインストールするかどうかを指定します。このオプションをオフにする場合は、アシスタント コンソールで次の設定が必要です。
 - アシスタント コンソールへの JRE 1.4.2_05 (国際バージョン) のインストール
 - アシスタント コンソールでの環境変数 IPMA_JRE の作成 (この環境変数は JRE へのパス (たとえば、`c:\Program Files\Java\j2re1.4.2_05`) を示します)

マネージャの設定

マネージャは、次の URL を使用して、Manager Configuration ウィンドウで機能の個人用設定をカスタマイズできます。

`https://<IPMA サーバ>:8443/ma/desktop/maLogin.jsp`

変数の意味は、次のとおりです。

IPMA サーバには、Cisco IPMA サービスを実行しているサーバの IP アドレスを指定します。



(注) Manager Configuration では、Microsoft Internet Explorer 6.0 以降のみをサポートしています。

管理者は、この URL をマネージャに通知する必要があります。

追加情報

P.3-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [プロキシ回線サポートのある Cisco IP Manager Assistant](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ソフトキー テンプレート」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「電話番号の概要」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「電話番号の設定の概要」
- [Cisco IPMA サービス \(P.3-2\)](#)
- [Cisco IP Phone のインターフェイス \(P.3-4\)](#)
- [マネージャおよびアシスタントの電話機の設定 \(P.3-15\)](#)
- [マネージャおよびアシスタント以外の電話機 \(P.3-17\)](#)
- [共有回線モード用のマネージャの設定とアシスタントの割り当て \(P.3-18\)](#)
- [マネージャの Cisco IPMA 情報の削除 \(P.3-19\)](#)
- [マネージャの Cisco IPMA 設定の更新 \(P.3-20\)](#)
- [アシスタントの共有回線と着信インターコム回線の設定 \(P.3-21\)](#)
- [アシスタントの Cisco IPMA 情報の削除 \(P.3-23\)](#)
- 『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「エンド ユーザの追加」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「エンド ユーザとデバイスとの関連付け」

その他のシスコ マニュアル

- *Cisco IP Manager Assistant ユーザ ガイド*
- *Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド*
- *Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド*
- *Cisco CallManager Serviceability システム ガイド*
- *CDR Analysis and Reporting Administration Guide*
- *Cisco CallManager Bulk Administration Tool ユーザ ガイド*
- *Cisco CallManager セキュリティ ガイド*

